

2023年

## 8月の新着本

8月12日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

渦の中へ おいち不思議がたり <b>【読者希望】</b>	あさのあつこ	おいち十六歳。医師である父の仕事を手伝っている。他の娘と違うのはこの世に思いを残して死んだ人の姿が見えること。そんなおいちの夢に必死で助けを求める女が現れる。悩みながらも医者を目指す娘が自分に宿った不思議な力を生かし、絡み合う因縁の糸を解きほぐしていく青春「時代」ミステリー。
骨灰	冲方丁	大手デベロッパーのIR部で勤務する松永光弘は自社の高層ビルの建設現場の地下へ調査に向かっていた。目的はその現場について『火が出た』『いるだけで病気になる』『人骨が出た』というツイートの真偽を確認すること。調査を進めると、図面に記されていない、巨大な穴のある謎の祭祀場にたどり着く。
1300万件のクチコミでわかった超優良企業 <b>【読者希望】</b>	大澤陽樹	「就職・転職」「投資」「経営」の新バイブル！知らないとソンする「隠れた良い会社」400社、大公開！気になるあの会社は、何位にランクイン？
文豪、社長になる <b>スタッフおすすめ本</b>	門井慶喜	菊池寛が発行した「文藝春秋」創刊号はたちまち完売する。読者が、時代が求めた雑誌は部数を伸ばし、会社も順風満帆の成長を遂げていく。しかし次第に社業や寛自身にも暗い影が。激動の時代に翻弄されながらも文豪として社長として波乱に満ちた生涯を送った寛が、最後まで決して見失わなかったものとは。
人生がラクになる 脳の練習 <b>【読者希望】</b>	加藤俊徳	人気の脳内科医がやさしく伝授！悩みがすーっと消えていく「脳の使い方」。「ラクに生きられない人」「悩みが多い人」は、脳の使い方がかたよっている可能性大！元気な脳を取り戻し、心身共にスッキリ暮らすにはどうすればいいのか。そこで大事になるのが「脳の練習」です。
黄色い家	川上未映子	十七歳の夏、「黄色い家」に集った少女たちの危険な共同生活は、ある女性の死をきっかけに瓦解し……。なぜ人は金に狂い、犯罪に手を染めるのか。人生とは、金とは、一体なんなのか？世界が注目する作家が初めて挑む、圧巻のクライム・サスペンス
わかれ縁 狸穴屋お始末日記	西條奈加	最低亭主から逃げた女房は江戸の離縁請負人のもとで働くことに。一筋縄ではいかない依頼を解決しながら、自らの離縁を目指す——?!いつの時代も家族円満は難しい!『心淋し川』で直木賞を受賞した、人情時代小説の名手が描く江戸の離婚模様
はるか、ブレーメン	重松清	私を捨てた“お母さん”の走馬灯には何が映っているのだろう。謎めいた旅行会社に誘われた16歳の少女のひと夏の物語。小川遥香16歳。3歳で母に捨てられた彼女は育ての親である祖母も亡くし、正真正銘のひとりぼっちだ。そんな彼女が出会ったのが走馬灯を描く旅をアテンドする〈ブレーメン・ツアーズ〉
ゴリラ裁判の日 <b>スタッフおすすめ本</b>	須藤古都離	カメルーンで生まれたニシローランドゴリラ、名前はローズ。メス。ローズは人間に匹敵する知能を持ち、言葉を理解する。運命に導かれ、ローズはアメリカの動物園で暮らすようになった。動物園で出会ったゴリラと愛を育み、夫婦の関係にもなる。順風満帆のはずだった——。
踏切の幽霊	高野和明	都会の片隅にある踏切で撮影された、一枚の心霊写真。同じ踏切では、列車の非常停止が相次いでいた。雑誌記者の松田は、読者からの投稿をもとに心霊ネタの取材に乗り出すが、やがて彼の調査は幽霊事件にまつわる思わぬ真実に辿り着く。読む者に慄くような感動をもたらす幽霊小説の決定版！
無縁坂 介錯人別所龍玄始末	辻堂魁	牢屋敷の首打役を務める別所龍玄二十二歳。介錯人・別所一門の名を背負い、切腹する侍の介錯を頼まれることもある。小柄で物静かな姿は童子のようでありながら、その介錯を知る者の間では凄腕と囁かれる。斬る者と斬られる者、その一瞬に生まれる心の働きだけが、ただそこにある。

私たちの金曜日	【読者希望】	三宅香帆 編	ストレスから職場を転々とする会社員、小塚をロッカーに隠し持つミステリアスな同僚、上京した売れない地下アイドル、30歳の誕生日を迎えた小説家、育ち盛りの子供を抱える自衛官のパイロットなど……思い通りに仕事をする事が叶わないなかで働く様々な女性たちを描いた短編7作品を収録。
成瀬は天下を取りに行く		宮島未奈	2020年、中2の夏休みの始まりに、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。M-1に挑戦したかと思えば、自身の髪で長期実験に取り組み、市民憲章は暗記して全うする。今日も全力で我が道を突き進む成瀬あかりから、きっと誰もが目を離せない。
街とその不確かな壁		村上春樹	その街に行かなくてはならない。なにがあろうと——〈古い夢〉が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動き出す。魂を揺さぶる純度100パーセントの村上ワールド。
京都梅咲菖蒲の嫁ぎ先	【読者希望】	望月麻衣	時は大正、四神の力を持つ『神子』が台頭する時代。日くつきの名家、梅咲家の令嬢・菖蒲は幼い頃、許婚として紹介された京都の桜小路家の御曹司・立夏に一目惚れをする。立夏を思い続け、十五歳で婚姻の準備のため、東京から桜小路家へ越してきた菖蒲だったが、再会した立夏は冷たい瞳で彼女を拒絶し。

【特別配架 寄付本】 ※実用書コーナーに配架しています。

絵手紙ことばあつめ	マール社編集部編	絵手紙には自分らしいことばを添えたいものです。この本では、季節や送りたい相手に合わせた絵手紙の「ことば」を集めました。アイデアはもちろん、ことばを広げるちょっとしたコツもご紹介していますので、いろいろな使い方ができる1冊です。
-----------	----------	---

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、10月新着本貸出日(10月14日)から貸出いたします。